

男女共同参画推進委員会企画ワークショップ開催報告

“ MS カフェ ” いろいろな働きかた:

— 老若男女皆がキラキラ輝いて楽しそうにMSに関わっているな!—

日時：2018年5月15日(火) 18:10~19:40

於：ホテル阪急エキスポパーク（大阪府吹田市）

日本質量分析学会・日本プロテオーム学会 2018年合同大会 B会場(星雲1)

参加者：合計62名（男性38名、女性24名）

毎年開催される本学会質量分析討論会において、継続的に男女共同参画について理解を深める機会として“ MS カフェ ”を企画し、日本プロテオーム学会との合同開催となったMSP2018においてワークショップを開催致しました。ドリンク・軽食を片手に“カフェ”のような和やかな雰囲気の中、冒頭に本委員会委員長の山田尚之氏（日本医療研究開発機構）より MS カフェ開催の趣旨を説明し、あわせて男女共同参画アンケートへの協力をお願いしました。また、同日の理事会にて保育支援のガイドラインが成立したことも報告しました。続いて川崎ナナ氏（横浜市立大学）より、同年1月11日に関東談話会と本委員会が共催した横浜 MS メーカーラボツアーについて報告がありました。会社での男女共同参画への取り組みやキャリアパスなどと共に、ラボツアーに参加した学生から好評だったこと、学生の率直な感想などが紹介されました。

続いて MS メーカー・MS ユーザー企業から4名、大学・研究所から4名、合計8名による発表がありました。MS メーカーからは宇野由紀氏（島津製作所）より「わたしと LCMS」と題して大学卒業から島津製作所で LCMS を担当することになるまでの経緯、現在のお仕事などについてエネルギーで分かり易いお話を頂きました。MS ユーザー企業として、藤田せつこ氏（小野薬品工業株式会社）からは「医薬品開発における質量分析の活用」として医薬品開発において多くのステージ・研究分野で MS が活用されていること、その中での様々な経験から心がけている日頃の思いなどを御紹介頂きました。副島有紀氏（日本たばこ産業株式会社）からは「MS ユーザー企業での働き方」として入社して LC/MS との出会いからグループリーダー、人材育成へ至る経験から感じた MS の進化、人との出会いの大切さなどについてお話を頂きました。小尾奈緒子氏（NISSHA 株式会社）からは「NISSHA で女性として働く」「リケジョ」の現状や会社の支援制度などについて統計データを交えながら詳しい説明をして頂きました。

途中休憩時間として、本委員会のポスター発表やディスカッションを行い、後半は大学・研究所での働き方について発表がありました。桑田啓子氏（名古屋大学）からは子育てと両立しながら好きな仕事を続けて行くために時間をどのように確保してきたか、体調管理や趣

味、通常業務外のアウトリーチや中部談話会での活動まで奮闘ぶりを紹介頂きました。松下祥子氏（藤田保健衛生大学）からは「MS との出会いと大学での働き方」として、MS と出会ったことにより研究のフィールドに入ったこれまでの経験や、臨床現場への MS の応用へむけた取り組みなどについてお話頂きました。川村猛氏（東京大学）からは MS の発展とともにキャリアを積んで来た経験、人とのつながりの大切さを BMS コンファレンス等での活動とともに御紹介頂きました。最後の発表として、BMS コンファレンスの連続参加記録を更新中という片木宗弘氏（大阪府警科捜研）から、未だ男性社会の気質が残る警察組織の中であって部下が仕事に取り組みやすいように心がけていることなどを楽しく御紹介頂きました。

皆真剣な眼差しでありながらも楽しく和気藹々とした雰囲気の中、夕刻の 1 時間 30 分という長い時間設定にも関わらず途中離席する人もなく、あっという間に時間が過ぎ閉会となりました。MSP2018 実行委員会からは多大な配慮を頂き、発表者の方々にはお忙しい中駆けつけて素晴らしい発表していただき、多くの参加者の皆様のおかげで盛会となりました。関係各位に改めて御礼申し上げます。



写真：ショートプレゼンテーションに聞き入る参加者